

3月21日

---

本日（月曜日）午後11時55分、

札幌から3名（三橋、田中、松本）が無事物資を積んで青森に入りました。

22日（火）の朝8時、岩手県盛岡市を目指します。

軽油108リットル、灯油56リットル、その他多くの物資を積んで、現地の情報を見極めながら届けてきます。

3月22日8:51AM

---

### [東北道の大型車制限を解除 きょう午前、一関以北は全車両](#)

今朝出発する前に確認したニュースで、10時から高速道路が開通されたという情報でした。

警察署に電話したところ間違い無い情報です。

下道を通る覚悟でしたが、高速を通して大幅に時間を短縮し盛岡にはいれそうです。

必要な場所に必要なものを迅速に運ぶことができるようにお祈りください。

3月22日22:09

---

一日目無事に終わり、帰ってきました。

今日は、朝9時に青森ジョイフルチャペルを出ました。

途中青森で、青森バプテスト教会と青森福音キリスト教会に寄り、

北海道からの3名と、青森のユース3名で向かいました。

「緊急車両許可書」を取得できなかったのが、下道を通して行く覚悟だったのですが、なんと今朝10時から高速道路が一般解放され、3時間で盛岡まで到着することが出来ました。ベストタイミングで神様の導きを感じます。

盛岡聖書バプテスト教会に到着すると、丁度台湾からのチームとシンガポールからのチームも到着し、盛岡の牧師先生を囲んで情報交換がなされました。

そして2台に別れ、すぐ被災の一番厳しい「大槌町」に向かい車を走らせましたが、私たちのチームは、燃料を途中で取得することができず、途中でプランを変更し、遠野市へ向かいました。

遠野では、青森のジェント先生とエリオット先生と合流し、今後の拠点となる家を見に行きました。

一戸建てを5万円で見つけ、仮契約をしました。

丁度その大家さんがガソリンスタンドも経営しており、ガソリンもいれてもらうことができ無事に帰ってこることが出来ました。

ここにも神様の絶妙な摂理を感じました。

盛岡に戻ると、北海道からの OMF 宣教師マギンティ先生はじめ6名が到着いたしました。



盛岡聖書バプテスト教会にて OMF 宣教師の方々と、青森チーム、北海道チーム

明日の朝、北海道からの物資を持って、大槌町に届けに行きます。

まだまだ支援が行き届いていない地域の人たちです。

お祈りよろしくお願い致します。



現地の先生方と長期になると思われる支援体制づくりをしております。

北海道からも近いうちにボランティアを送ることができたらと願っています。

3月23日 23:58

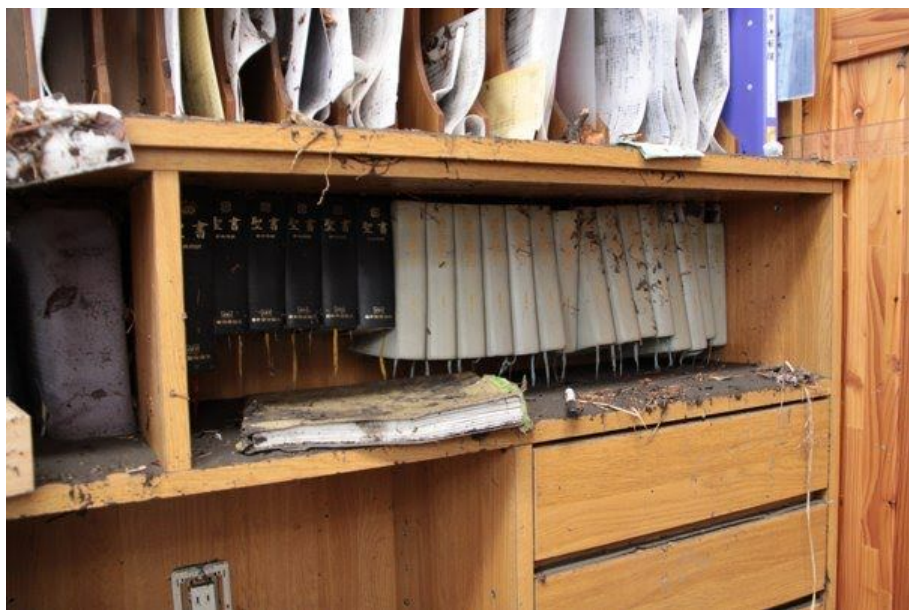
今日は、朝9時に盛岡聖書バプテスト教会を出発し、物資を持って海岸沿いの被災地に向かいました。  
今日の日を振り返り、写真付きでレポートいたします。



まず到着したのは、釜石にある日本キリスト教団 新生釜石教会。  
街全体ひどい被害で、教会の目の前にはぐちゃぐちゃになった車が列をなしています。







教会の内部もめちゃくちゃな状態でしたが、OMFの8人の宣教師の助けにより一日ですごく綺麗になりました。

今後はここがボランティアの人たちが泊まり、働く拠点となりそうです。

夜には青森からりんご400キロとジュース、米などが届いていました。

写真レポートの一部がこちらからも御覧いただけます→<http://blog.goo.ne.jp/necocanfruit3>

新生釜石教会の柳谷牧師先生が、落ち着いて教会の前で訪れる人々に対応されている様子を見て励まされました。

「被災地に教会が入って行って新しいものをドカンと建てるのじゃなくて、教会自体が被災しているのだから、被災した人たちと一緒にあって、ゼロから町を立ち上げていく。その中心にいれることが大きな恵み。大きな機会。」

とおっしゃっていたのが心に響きました。

町の復興を教会も一緒になって行っていく。そこで教会が本当の意味で地域に根ざしていく。

その覚悟が先生のうちから熱く燃えただっていました。

その後、避難所を訪れ、北海道からの支援物資を届けました。

まずは、もっとも被害の大きかった大槌町の避難所になっている安渡小学校に向かいました。



ここである程度物資を届けた後、この後は小さな避難所を重点的に回ります。

小学校を出た後は、安渡地区の集落（まだ一般車が入れない地域です）に向かい直接町民の方に物資を届けました。



灯油や下着、ガスコンロなど大変喜ばれました

金沢地区の避難所になっている生活改善センターには、物資がある程度行き届いていたので、子供たち向けのお菓子などを中心に届けました。

その後は、大槌町役場金沢支所に行き、物資を届けました。

60人ほどの方が現在おられて、自分たちで炊き出しもしているので、インスタントのものではなくて調味料や食材が喜ばれました。

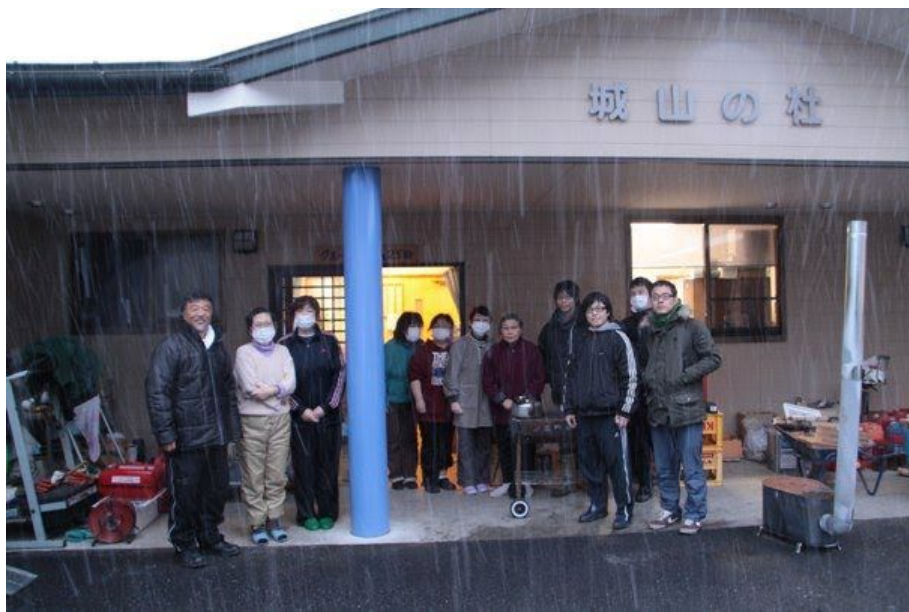
あと小さな子どもがいたので、ミルクやおむつ、子供用食品、靴下なども喜ばれました。



その後たまたま通りかかった特別養護老人ホーム「城山ノ杜」に車を止めました。

トイレットペーパー、大人用おむつ、石鹸などが大変喜ばれました。

電話しても物資が届かない状況だったそうです。



物資を届け終えた後、一度新生釜石教会に戻り、青森から届いた物資の運搬を手伝いました。

OMFの8人の宣教師の方々は今晚釜石教会の2階に泊まります。

その後3時間ほど運転し、盛岡聖書バプテスト教会に戻ってきました。  
明日の朝青森に向かい、午後2時のフェリーに乗って北海道に戻ります。

今回の旅は要所要所で神様のタイムリーな導きを感じました。  
拠点となる教会ともつながり、牧師先生とのネットワークも出来、今後の支援ルートが出来ました。

物資は、だいぶ足りてきている状況ですので、北海道からは物資よりもヒトを送れたらと思います。  
特に釜石の教会周辺の地域の後片付けや炊き出し、子供たちと遊んで上げられる方のボランティアを募集する  
予定です。

早ければ来週早々10人ほどで向かえたら、と思います。  
5日間くらいを考えています。詳細は追ってHP上でご案内いたします。

2年、3年と見据えた長期的な支援が必要になってきます。  
北海道からも長い目で関わっていけたら、と願います。

今の時点で一番喜ばれる物資は、生鮮もの食材、調味料（油、マヨネーズなど）、乳製品などです。  
スーパーではなかなか食材がかえないのが現状です。  
もう少しで改善すると思いますが、相変わらず、燃料（ガソリン、軽油）が一番のネックです。  
ガソリンスタンドの前の道路には、何キロにも渡って、車が列をなしています。

義援金は続けてよろしく願いいたします。  
ホクミンの皆様からの義援金は、現地で窓口となって支援している教会（盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みな  
み教会）に一部託しました。  
その他は現地で必要な物資の調達に充てております。

ホクミンとしては、江別のスノー先生チームが今週中に岩手の同じところに向かいます。  
皆さんのお祈り本当に感謝いたします。

3月24日12:33

---

無事に青森に到着いたしました。  
北海道組は14時半のフェリーで函館に戻ります。